

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 1日

事業所名 あさがおきつづ滝井

|          |  | チェック項目   | はい   | いいえ                          | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標              |
|----------|--|--|------|------------------------------|--|---------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 50%  | 50%                          | 部屋の中心部に柱がある為利用人数によっては狭く感じる。柱に安全クッションを設置している        | 安全を第一にケガにつながる所はないか話し合う時間を確保していく       |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である   | 50%  | 50%                          | 送迎時に支援員が不足している                                     | 送迎時間内の支援員を充足している                      |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている   | 50%  | 50%                          | バリアフリーではあるが情報伝達に関しては不十分な為改善が必要                     | 一つ一つに視覚的アプローチを充実させていく                 |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている   | 100% | 0%                           | 活動に合わせた空間には出来ているが消毒等徹底していく                         | 清潔な環境が維持できるよう心がける                     |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している  | 100% | 0%                           | その都度振り返りを行い話し合っている                                 | 改善点を共通認識するために引き続き話しあう時間を確保していく        |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている  | 100% | 0%                           | 評価表により支援員全体で保護者等の意見を共有し改善に努めている                    | 支援員全体で保護者等の意見を共有し改善に努める               |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 100% | 0%                           | ホームページにて公開している                                     | 支援員や保護者などに対してホームページで公表していることを再度周知していく |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 100% | 0%                           | 外部評価での結果を支援員全体で話し合い業務改善に努めている                      | 引き続き外部評価を実施し、改善に努めていく                 |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 100% | 0%                           | 可能な限り確保するよう努めている。研修時間によっては参加難しい事がある為支援員を確保している     | 出来る限りの研修に参加し、支援員全体のスキルアップを図っていく       |
| 適切な支援の提供 | 10   | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 75%  | 25%                          | 保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で作成しているが説明が不十分にならないようにしていく     | 必要に応じて計画の見直しを行い、理解いただくよう心がける          |
|          | 11   | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 75%  | 25%                          | 検査結果は保護者より情報提供いただき現在の様子など背景情報を集め総合的にアセスメントを        | 総合的アセスメントが不足している児童については保護者へ働きかける      |
|          | 12   | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0%                           | 保護者にわかりやすい内容で提示している。支援内容についても保護者の意向を聞き取り計画書に反映している | 今後、より良い支援計画になるよう見直していく                |
|          | 13   | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 100% | 0%                           | 支援計画書に沿った支援をしている                                   | 引き続き支援計画に沿った支援と本人の成長過程に合ったをしていく       |
|          | 14   | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 100% | 0%                           | 日ごとの取り組みを掲示し実践している                                 | 立案時に様々な意見が出るよう心がける                    |
|          | 15   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 100% | 0%                           | 固定化しないよう工夫している                                     | 支援員の意見を聞き取り、より良いプログラムを考えていく           |
| 16       | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 100%   | 0%   | 個別と集団での課題を全体で話し合い支援計画を作成している | 保護者にわかりやすい支援計画を作成するよう改善していく                        |                                       |

|              | チェック項目 | はい   | いいえ  | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標              |
|--------------|--------|------|------|--|---------------------------------------|
|              | 17     | 100% | 0%   | 1日の取り組みスケジュールについて打ち合わせを行い役割分担を明確化している                                      | 役割分担が固定しないようにしている                     |
|              | 18     | 100% | 0%   | 報告や相談を行い次回の取り組み内容や変更点など話し合い共有している  | 全支援員で共有できるよう努める                       |
|              | 19     | 75%  | 25%  | 個別取り組みについては記録を残している。もう少しわかりやすくする為改善は必要                                     | 記録が不十分にならないよう担当を決める                   |
|              | 20     | 100% | 0%   | 定期的にモニタリングを実施し見直しの必要性を判断している   | 保護者のニーズを反映し、必要な見直しを継続していく             |
| 関係機関や保護者との連携 | 21     | 75%  | 25%  | 児童発達支援管理責任者が会議に参画している  | 必要に応じてケース担当者の参画を検討する                  |
|              | 22     | 100% | 0%   | 利用児童の様子や家庭や園などの情報など共有できるように関係機関と連携している                                     | 定期的に情報交換が出来るよう努める                     |
|              | 23     | 75%  | 0%   | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている |                                       |
|              | 24     | 75%  | 25%  | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | 発作時などに適した行動が出来るよう研修を行い備える             |
|              | 25     | 100% | 0%   | 保育所やこども園など情報を提供していただきこちらでの情報も伝え相互理解を図っている                                  | 定期的に情報共有を行うため働きかける                    |
|              | 26     | 0%   | 100% | 現在児童発達支援のみの受け入れとなっている  | 今後受け入れがあった場合は、定期的に情報共有を行うため働きかける      |
|              | 27     | 75%  | 25%  | 研修への参加や交流会等にて助言を受けている。コロナ禍で機会は減っている  | コロナ感染拡大が落ち着けば、助言や研修を積極的に受けていく         |
|              | 28     | 0%   | 100% | コロナが落ち着いたら交流の機会を持てるよう努める   | 状況を見極め、交流の機会を増やしていく                   |
|              | 29     | 0%   | 100% | コロナが落ち着いたら交流の機会を持てるよう努める   | 状況を見極め、交流の機会を増やしていく                   |
|              | 30     | 100% | 0%   | 送迎時に活動内容や様子など伝えるようにしている  | 送迎時に現況をしっかりと伝えていくよう心がける               |
|              | 31     | 75%  | 25%  | 保護者からの質問に対して助言する事がある。積極的な家族支援プログラムは実施できていない                                | 定期的に保護者の困りごとなどを聞き取れるよう、面談の実施などを検討していく |
|              | 32     | 75%  | 25%  | 不十分な所は改善していく   | 契約時に丁寧な説明が出来るよう時間を確保していく              |
|              | 33     | 100% | 0%   | 児童発達支援の内容を確認してもらい同意を得ている   | 客観的分析のもと支援計画を作成し、支援計画の内容を丁寧に伝えていく     |

|            |    | チェック項目   | はい   | いいえ  | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                             |
|------------|----|--|------|------|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                | 100% | 0%   | その都度助言をするよう心がけている。相談があれば全支援員で共有し助言を行っている                              | 相談しやすいよう、普段より保護者との関係構築に努める                           |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                 | 25%  | 75%  | 昨年は保護者会を開催出来たが本年度はコロナ感染拡大の為出来ていない。要望がある為検討している                        | コロナ禍で見合わせていたが、ご要望があるため少人数で実施できるよう考えていく               |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0%   | 相談や申し入れについて迅速かつ適切な対応を心がけている   | 引き続き迅速に対応できるよう心がけていく                                 |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                             | 100% | 0%   | あさがお通信を発行しまたブログで子供の様子をわかりやすく発信している                                    | 保護者に対して発信しているツールなどを再周知し、情報や普段の様子を見ていただけるようにしていく      |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 100% | 0%   | 個人情報事務所の鍵付き書庫にて保管している   | 全支援員が共通認識が持てるようにしていく                                 |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている  | 100% | 0%   | 子供に関しては話を聞く時間を確保し、伝達が難しい場合はツールを用いている                                  | 障害特性に合わせた配慮を継続していく                                   |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 0%   | 100% | コロナが落ち着いたら前向きに検討していく  | 今後、前向きに検討していく  |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している          | 100% | 0%   | 防犯、防災訓練を定期的に実施している。感染症対策については実施内容を保護者に周知している                          | 訓練の取り組み後に、実施した内容を保護者に向け周知していく                        |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 100% | 0%   | 定期的に避難ルートの確認を行う訓練をしている  | 訓練の取り組み後に、実施した内容を保護者に向け周知していく                        |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 75%  | 25%  | 「安心ガード」にて服薬確認をしている。予防接種については今後改善していく                                  | 事前に確認は行っているが、定期的に変更がないか確認していく                        |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 100% | 0%   | 医師の指示書ではないが保護者よりアレルギーについて聞き取り対応をしている                                  | 事前に確認は行っているが、定期的に変更がないか確認していく                        |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 100% | 0%   | ヒヤリハットの事例を研修を通して支援員全体の共有を図っている  | 定期的なミーティングの際に支援員全員で共有できるよう徹底する                       |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 100% | 0%   | 権利擁護研修を実施している   | 権利擁護研修の機会を増やしていく                                     |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している   | 50%  | 50%  | 状況により身体拘束をしなければいけない児童については組織的に決定し、子供や保護者に事前説明の上了解を得る必要がある。現状としては身体拘束を | 身体拘束が必要な状況になった場合、安全に対応できるようにしていく。保護者に丁寧に説明するよう心がけていく |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。